



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月9日
東

上場会社名 株式会社オーハシテクニカ 上場取引所
 コード番号 7628 URL <https://www.ohashi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 衛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 正木 聖二 (TEL) 03-5404-4418
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,855	△23.8	1,227	△52.3	1,368	△49.4	900	△55.8
2020年3月期第3四半期	27,373	△7.9	2,572	△19.1	2,706	△17.6	2,036	△14.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 442百万円(△70.7%) 2020年3月期第3四半期 1,509百万円(△21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	61.76	—
2020年3月期第3四半期	138.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	40,447	31,082	75.9
2020年3月期	42,360	31,925	74.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 30,688百万円 2020年3月期 31,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	32.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	29,000	△19.2	1,900	△41.8	2,050	△39.7	1,400	△43.1
								97.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2021年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	14,759,080株	2020年3月期	16,240,040株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	401,516株	2020年3月期	1,494,346株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	14,580,990株	2020年3月期3Q	14,746,217株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済及びわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出規制、休業要請等で経済活動が厳しく制限され、第2四半期までは各地域で景気の悪化が継続しました。その間、各国とも感染症拡大の抑制と経済活動の両立に向けた政策を実行し、中国ではいち早く景気の回復がみられ、その他の地域においても景気は底打ちし、当第3四半期以降、各国の景気は回復基調にあります。しかしながら、一部の国、地域では感染症の再拡大が進み、再度、緊急事態宣言やロックダウンが実施される等、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループの事業分野であります自動車業界におきましては、海外（当社会計期間2020年1月1日～2020年9月30日）では、第2四半期より中国の生産台数の急回復がみられたものの、その他の地域で新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要メーカーの操業停止が本格化し、生産台数は大幅に減少しました。その後、各国政府の政策が下支えとなり、当第3四半期は生産台数の回復基調が続き、前年同期の水準まで持ち直しました。また国内（当社会計期間2020年4月1日～2020年12月31日）では、主要得意先メーカーの生産台数は第1四半期を底に回復に転じており、当第3四半期では前年同期の水準まで回復していますが、期初からの操業停止と需要低迷の影響が大きく、当第3四半期連結累計期間の生産台数は前年実績を下回っています。

このような状況下、当社グループでは事業基盤の強化と経費削減等による経営の効率化に努めてまいりましたが、連結売上高は、第2四半期の新型コロナウイルス感染症の影響による主要得意先メーカー各社の操業停止と需要の低迷に伴う生産台数の減少の影響が大きく、前年同期比減収となりました。また、連結営業利益も各地域における第2四半期までの売上減少の影響が大きく、前年同期比減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は20,855百万円(前年同期比23.8%減)、営業利益は1,227百万円(同52.3%減)、経常利益は1,368百万円(同49.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は900百万円(同55.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。(セグメント売上高は、外部顧客に対するものであり、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。)

[日本]

当第3四半期はそれまでの急激な売上減少から持ち直したものの、第2四半期までの新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要得意先メーカーの一時的な操業停止、その後の需要の低迷に伴う生産減少の影響が大きく、売上高は11,496百万円(前年同期比24.9%減)となりました。セグメント利益は、売上減少の影響により、611百万円(同53.6%減)となりました。

[米州]

政府の経済対策と活動制限緩和、それに伴う自動車生産の回復によって、当第3四半期以降の売上高は前年を上回る水準まで回復しました。しかしながら、第2四半期の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う主要得意先メーカーでの操業停止や市場の冷え込みによる販売減少によって、売上高は4,371百万円(同23.7%減)となりました。セグメント利益は、売上減少の影響が大きく、230百万円(同52.7%減)となりました。

[中国]

2月から3月にかけて主要都市がロックダウンとなり、得意先メーカーが操業停止となったことから売上高は大きく落込みましたが、5月からは前年を上回る水準で生産が急回復し、売上高は3,061百万円(同2.7%減)となりました。セグメント利益は、第2四半期からの生産台数の回復により、393百万円(同0.9%増)となりました。

[アセアン]

昨年度後半から自動車販売が低迷していたところに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が重なりました。市場回復も遅れ得意先メーカーでの生産減少が続いたことから、売上高は1,360百万円(同37.3%減)となりました。セグメント利益は、売上減少の影響が大きく、71百万円(同77.3%減)となりました。

[欧州]

昨年度前半からの日系自動車メーカーの販売台数の低迷に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が重なり、得意先メーカーにおいて大幅な生産減少となりました。これにより、売上高は565百万円(同44.4%減)となりました。セグメント損失は、売上減少、ポンド安に伴う輸入品の仕入コストの上昇、拠点統合費用等により、74百万円(前年同期はセグメント損失33百万円)となりました。

[台湾]

台湾大橋精密股份有限公司は、グループ間取引のみのため、外部顧客への売上高はありません。

グループ会社向けの輸出が減少し、売上高は減少しました。これに伴い、セグメント利益は18百万円(前年同期比48.8%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績及び今後の業績見通しを勘案し、2020年8月5日に公表いたしました「2021年3月期連結業績予想」を修正しております。

詳細につきましては、本日(2021年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,843,866	20,233,195
受取手形及び売掛金	6,798,745	6,814,067
商品及び製品	3,962,537	3,869,624
仕掛品	472,936	382,609
原材料及び貯蔵品	539,537	603,673
その他	349,452	215,210
貸倒引当金	△8,387	△11,674
流動資産合計	33,958,686	32,106,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,858,865	4,929,261
減価償却累計額	△2,270,626	△2,367,558
建物及び構築物(純額)	2,588,238	2,561,703
機械装置及び運搬具	7,600,198	7,618,138
減価償却累計額	△6,552,885	△6,527,528
機械装置及び運搬具(純額)	1,047,313	1,090,610
工具、器具及び備品	3,537,537	3,516,037
減価償却累計額	△3,138,166	△3,155,867
工具、器具及び備品(純額)	399,371	360,170
土地	1,411,690	1,377,522
建設仮勘定	518,772	401,646
有形固定資産合計	5,965,385	5,791,652
無形固定資産		
ソフトウェア	197,345	166,266
その他	49,500	48,158
無形固定資産合計	246,845	214,424
投資その他の資産		
投資有価証券	1,381,026	1,555,778
繰延税金資産	286,891	257,381
その他	524,120	524,021
貸倒引当金	△2,497	△2,597
投資その他の資産合計	2,189,541	2,334,583
固定資産合計	8,401,772	8,340,661
資産合計	42,360,458	40,447,367

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,914,965	2,841,834
電子記録債務	5,185,536	4,606,911
未払法人税等	416,486	99,413
賞与引当金	195,224	148,642
役員賞与引当金	31,200	23,400
その他	862,885	733,404
流動負債合計	9,606,298	8,453,607
固定負債		
繰延税金負債	7	6
長期借入金	—	111,301
退職給付に係る負債	607,760	600,101
その他	221,164	199,780
固定負債合計	828,932	911,190
負債合計	10,435,230	9,364,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,825,671	1,825,671
資本剰余金	1,622,030	1,611,240
利益剰余金	28,954,967	27,698,423
自己株式	△1,507,804	△606,285
株主資本合計	30,894,864	30,529,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	104,201	241,835
為替換算調整勘定	457,992	△121,900
退職給付に係る調整累計額	43,180	39,854
その他の包括利益累計額合計	605,374	159,789
非支配株主持分	424,989	393,731
純資産合計	31,925,228	31,082,569
負債純資産合計	42,360,458	40,447,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	27,373,404	20,855,325
売上原価	20,744,071	16,057,912
売上総利益	6,629,333	4,797,412
販売費及び一般管理費	4,056,892	3,569,744
営業利益	2,572,440	1,227,668
営業外収益		
受取利息	56,449	47,095
受取配当金	35,892	29,520
持分法による投資利益	37,796	—
作業くず売却益	28,752	21,854
補助金収入	32,253	110,471
その他	23,115	18,305
営業外収益合計	214,258	227,248
営業外費用		
支払利息	1,367	6,088
持分法による投資損失	—	1,929
為替差損	46,015	28,118
開業費	31,168	38,353
その他	1,519	12,214
営業外費用合計	80,071	86,705
経常利益	2,706,628	1,368,211
特別利益		
固定資産売却益	1,791	46
投資有価証券売却益	125,071	17,334
特別利益合計	126,863	17,381
特別損失		
固定資産売却損	—	492
固定資産除却損	856	1,536
その他	1	—
特別損失合計	858	2,029
税金等調整前四半期純利益	2,832,633	1,383,563
法人税、住民税及び事業税	807,507	505,911
法人税等調整額	△26,546	△27,383
法人税等合計	780,960	478,528
四半期純利益	2,051,672	905,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,502	4,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,036,169	900,522

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,051,672	905,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,944	138,136
為替換算調整勘定	△470,251	△597,063
退職給付に係る調整額	△2,170	△3,325
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,663	△503
その他の包括利益合計	△542,030	△462,755
四半期包括利益	1,509,642	442,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,503,212	454,937
非支配株主に係る四半期包括利益	6,429	△12,656

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式187,600株の取得、並びに2020年11月11日開催の臨時取締役会決議に基づき、自己株式200,000株の取得を行いました。また、2020年5月29日付で、自己株式1,480,960株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が10,790千円、利益剰余金が1,256,543千円及び自己株式が901,518千円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,611,240千円、利益剰余金が27,698,423千円、自己株式が606,285千円となっております。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症による影響につきましては、国内における緊急事態宣言の解除等による経済活動の回復基調と、2度目の緊急事態宣言が発出された状況を受け、当社グループの当第3四半期連結累計期間の実績、最近の受注動向等、現時点で入手可能な情報及び予測を踏まえた仮定に基づき、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	15,306,175	5,731,336	3,145,651	2,171,931	1,018,310	—	27,373,404	—	27,373,404
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,182,939	1,981	74,770	41,198	21	715,405	3,016,318	△3,016,318	—
計	17,489,115	5,733,317	3,220,421	2,213,130	1,018,332	715,405	30,389,722	△3,016,318	27,373,404
セグメント利益 又は損失(△)	1,318,290	487,863	389,697	313,447	△33,513	36,721	2,512,506	59,934	2,572,440

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額59,934千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アセアン	欧州	台湾	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	11,496,033	4,371,342	3,061,126	1,360,881	565,940	—	20,855,325	—	20,855,325
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,889,672	1,343	63,334	20,111	888	521,972	2,497,323	△2,497,323	—
計	13,385,706	4,372,686	3,124,461	1,380,992	566,829	521,972	23,352,648	△2,497,323	20,855,325
セグメント利益 又は損失(△)	611,751	230,902	393,257	71,071	△74,733	18,794	1,251,043	△23,375	1,227,668

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△23,375千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2021年2月9日開催の取締役会におきまして、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--------------------------|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 210,000株(上限) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 300百万円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2021年2月12日から2021年6月11日まで |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

3. その他

(新型コロナウイルス感染症に係る米国雇用保護政策関連)

当第3四半期連結会計期間末の長期借入金は、米国子会社であるOHASHI TECHNICA U.S.A., INC. が米国のPaycheck Protection Program(給与保護プログラム)を申請し、支給された資金であります。なお、長期借入金として表示しておりますが、雇用保護を目的とする従業員給与の支払等、指定された条件を満たす用途に使用した場合、返済が免除されるものであります。